

安全マネジメント推進要綱

平成30年度



両備ホールディングス株式会社

両備バスグループ

両備バスカンパニー

両備バス関西カンパニー

両備津山カンパニー

東備バス

は じ め に

平成30年度も「日本一安全な運輸企業」を目指した取組みを引き続き実施します。平成21年2月に発せられた経営トップのコミットメントは、日本一安全な運輸企業を目指すとした大作戦を展開し、管理者・乗務担当社員・労使が一体となり、真のドライバー目線で指導・教育を確実に行う事により、社会やお客様に対し安全・快適な輸送サービスを提供します。

具体的には、SSPブラッシュアップ推進委員会での組織活動により、1人のリーダーが5人の指導を行い(チーム5制度)、全体のレベルアップを図ります。現場指導を中心とし、無事故模範ドライバーであるリーダーが自らの経験による事故回避の秘訣を班員に伝授することにより、「考える運行のできるセールスドライバー」を育成します。

事故は、COO・管理者・運行管理者・教育担当者や整備担当者と労組・乗務担当社員との共同正犯であることを受け止め、全社一丸で対応します。

事故を未然に防ぐため、安全設備搭載の新型車両、点呼・健康管理新システム等のハード面の充実を図るほか、運転適性診断や健康診断、ドライブレコーダー・デジタルタコグラフの結果による要注意者をリストアップし、添乗指導や各研修をグループバス会社と合同で行うことにより、多角的な視点から「悪い癖」を修正していきます。とりわけハインリッヒの法則の通り、小さい事故の積み重ねが重大事故に繋がっている点から、小さい事故の段階での指導をより強化していきます。

社員一人ひとりが「尊い人命を預かっている」という社会的使命を自覚し、「忠恕(真心からの思いやり)」の精神での運転&接客に努め、社会やお客様に愛され信頼される運輸企業となるよう全社員の力を結集し、安全&快適運行に努めます。

両備バスグループ安全指針

安全が最大の顧客サービス (「人命第一」&「安全最優先」)

厳正な点呼の実施 (「国交省メールマガジン」&「個人重点目標」)

安全意識を高め、現場力のアップ (SSPブラッシュアップ運動)

安全確保重点カレンダーに従った事故防止 (「人命第一」人身事故防止運動)

平成30年 グループ安全スローガン

コミュニケーションで築こう安全文化！
基本動作の徹底、一人一人が監督者、注意し合える
大切な仲間

平成30年 両備バス安全目標

思いやり運転で事故回避

- ・人命最優先の対処
- ・相手の目線で予見運転
- ・指差確認喚呼で見落とし防止

事故削減心得6則

- ・車両の特性を知りましょう。
- ・運転技術を磨きましょう。
- ・健康状態を管理しましょう。
- ・道路交通法を守りましょう。
- ・接客サービスを徹底しましょう。
- ・国土交通省告示第1676号の各項目を厳守しましょう。

1. 輸送の安全に関する基本的な方針

1) 両備グループ安全宣言

社会正義の経営方針に則り、交通運輸各社は、「運輸安全マネジメント」に基づき、「安全」を最優先とし、「日本一安全な運輸企業」を目指して頑張ることを宣言します。

2) 活動方針

両備グループ安全マネジメント委員会を中心に、労使参加で、より現場に密着した効果的な活動を展開し、目標である「日本一安全な運輸企業」を目指します。

3) 安全方針

- ①安全運転を第一とし、法令順守し、基本に忠実に日々業務を遂行すること。
- ②車両の整備を的確に行い、始業点検を厳正に行うこと。
- ③点呼において、日々安全への啓蒙、関心を高めること。
- ④教育を通じて安全意識を常に涵養すること。
- ⑤万が一重大事故の場合、人命尊重を第一に対処し、速やかに上司、関係機関への連絡をとること。

2. 輸送の安全に関する目標(平成30年度)

10万キロ当たり責任事故件数0.06件以下達成を目標とする。

責任事故 12件以内

(責任事故…過失割合が重く、事故損害額が50,000円を超える事故)

3. 事故に関する統計(平成29年度)

| | | | |
|-------------------------|------|-----|--------------------------|
| 自動車事故報告規則 第2条に規定する事故 | 人身 | 3件 | 0.015件/10万 ^{キロ} |
| | 車両故障 | 20件 | 0.101件/10万 ^{キロ} |
| 責任事故 | | 25件 | 0.126件/10万 ^{キロ} |
| 総事故(含 被害事故) | | 81件 | 0.407件/10万 ^{キロ} |

(統計年度は4月～3月 東備バス含む)

目標の10万キロ当たり責任事故件数0.05件以下は0.13件のため未達成

4. 輸送の安全に関する組織体制(別紙)

- ①両備グループ安全マネジメント委員会
- ②両備バス安全マネジメント委員会
- ③両備グループバス部門SSPブラッシュアップ推進委員会

5. 輸送の安全に関する重点施策

- ①運転行動の基本に戻り、日々の業務を安全に遂行します。
- ②指差確認喚呼と左折時一旦停止、右折時一旦停止又は最徐行の励行で交差点事故を根絶します。
- ③点呼・健康管理システム「点呼・健康:ご安全に!」を活用し、健康起因事故の防止を図ります。
- ④頭部MRI検査と睡眠時無呼吸症候群(SAS)検査を実施し、健康状態を管理します。
- ⑤車両の不具合による事故の根絶を図ります。
- ⑥「点呼・健康:ご安全に!」と車両管理システムの連携により無車検運行を防ぎます。
- ⑦ヒヤリハット情報&国交省メルマガの活用で、危険予測、予見運転意識を高めます。
- ⑧事故・苦情の撲滅を目指したSSPブラッシュアップ運動の展開で、現場力を高めます。
- ⑨教育・研修を通じ、安全意識を涵養し、飲酒&薬物にかかる指導を継続的に行います。
- ⑩情報の迅速・正確さの向上を図り、安全運転に活用します。
- ⑪事業所の巡視・監査を通じ、現場の諸問題を速やかに解決します。
- ⑫両備グループ交通違反制度により道路交通法遵守の徹底を図ります。
- ⑬職場内対話の充実により、風通しの良い職場を構築し、不安全行動を防ぎます。
- ⑭全乗務担当社員のドライブレコーダーを定期的に確認し、結果に基づいた指導を実施します。

6. 事故・災害時の連絡報告体制(別紙)

7. 輸送の安全に関する会議等の実施計画(別紙)

輸送の安全目標達成のため、昨年の事業の検証を行い、現状の問題点を抽出した上で、安全マネジメントの実効をあげる輸送の安全に関する計画を見直しします。

8. 輸送の安全に関する教育・研修等の実施計画(別紙)

9. 輸送の安全に関する研修・設備投資等の実施計画(別紙)

10. 輸送の安全に関する内部監査

- ①安全統括管理者による内部監査(年1回)
- ②グループ安マネ委員会監査委員・SSPブラッシュアップ委員による業務監査(随時)
- ③カンパニー長(副カンパニー長)による抜き打ち訪問(随時)
- ④内部監査委員による定例監査(整備・人事・財務)
- ⑤労使メンバー安全点検職場巡回(年12回)
- ⑥バスユニット各社による相互監査(随時)

11. 行政処分の公表(別紙)

12. 安全に関する資料、記録の保存

- ①輸送の安全に関する基本的な方針
- ②輸送の安全に関する重点施策
- ③事故・災害時の連絡報告体制
- ④輸送の安全(施策の見直し)に関する会議の議事録
- ⑤事故・災害等報告記録
- ⑥運輸局通達等発信情報記録
- ⑦輸送の安全に関する内部監査結果

13. 経営トップによる見直し・改善指示

両備グループ安全マネジメント委員会を毎月開催し、経営トップの判断が必要な場合は、遅滞なく改善指示をします。

【運転中のスマートフォン操作によるもの】

行政処分の公表

当社は近畿運輸局大阪運輸支局より下記の処分を受けました。
今回の処分を厳粛に受け止め、信頼回復に向けて、法令の遵守および輸送の安全確保を徹底し、
全社を挙げて再発防止に取り組んでまいります。

記

1. 対象営業所
両備バス関西カンパニー大阪支店
2. 処分内容
文書警告
3. 違反条項
運転者に対する指導監督義務違反(旅客自動車運送事業運輸規則第38条第1項)
4. 当該処分に基づき講ずる措置
運転者に対し、法令の遵守および輸送の安全を確保するための指導の充実化を図ります。
また、受講後の効果測定で習得状況を確認し、完全に理解できるまで繰り返し指導を
徹底してまいります。
5. 処分を受けた日 平成28年11月17日

以上

【無車検運行によるもの】

行政処分の公表

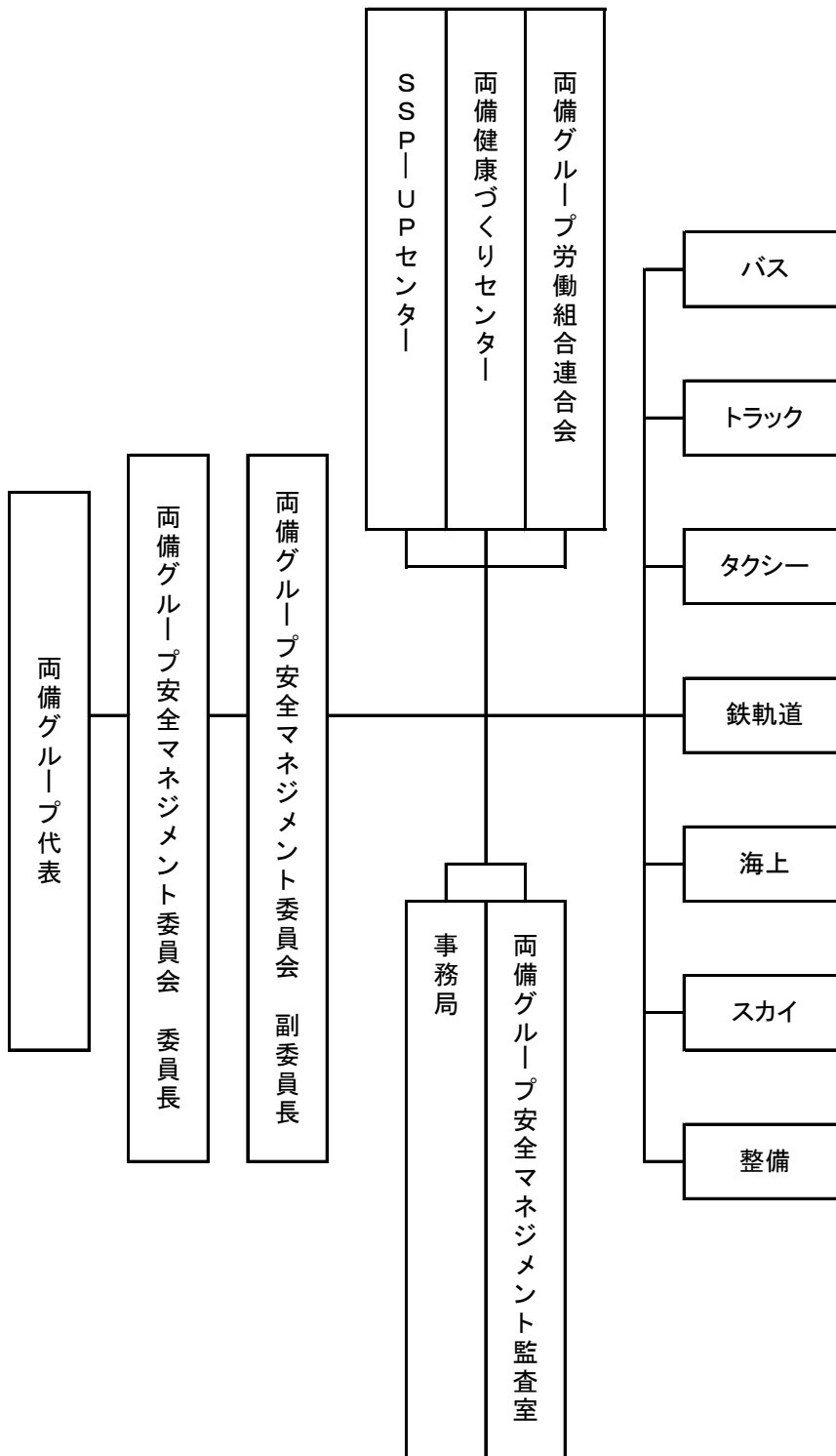
当社は中国運輸局岡山運輸支局より下記の処分を受けました。
今回の処分を厳粛に受け止め、信頼回復に向けて、法令の遵守および輸送の安全確保を徹底し、
全社を挙げて再発防止に取り組んでまいります。

記

1. 対象営業所
両備バスカンパニー倉敷営業所
2. 処分内容
事業用自動車(貸切バス)の使用停止 10日車
3. 違反条項
 - ①有効な自動車検査証の交付を受けていない事業用自動車を運行の用に供していた。
 - ②点呼の記録の記載事項に不備があった。
4. 当該処分にに基づき講ずる措置
ヒューマンエラーを防止するために、始業点呼時に車検有効期限を確認するシステムを導入します。
5. 処分を受けた日 平成29年5月31日

以上

両備グループ安全マネジメント委員会組織図



両備バス安全マネジメント委員会組織図

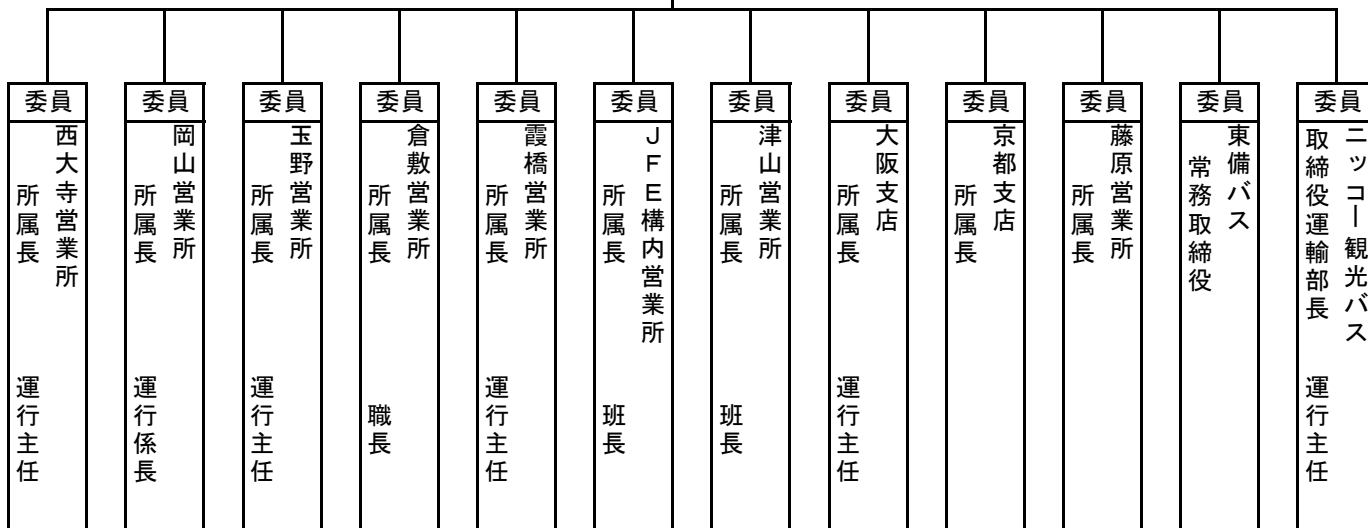
両備バスカンパニー
 両備バス関西カンパニー
 両備津山カンパニー
 両備タクシーカンパニー
 東備バス
 ニッコー観光バス

H21年 4月15日
 (変更)H30年 5月16日

委員長兼事故審査委員長
 両備バスカンパニー長

事務局
 管理部部長
 運輸部部長
 管理課係長
 管理課主任
 CS推進室(ユニット)係長
 CS推進室長
 車両課係長

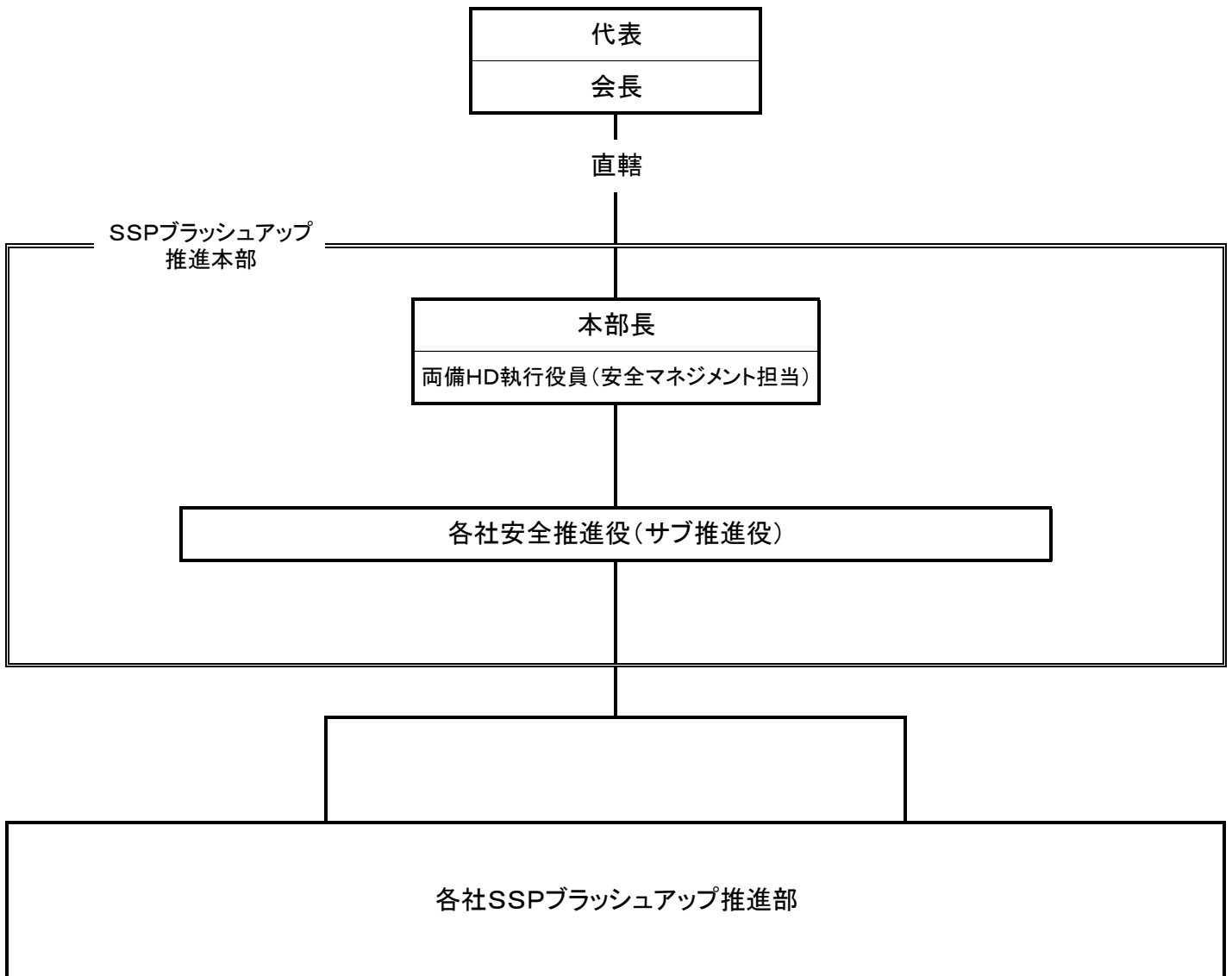
オブザーバー
 SSP-UPセンター 所長
 " 部長
 両備ホールディングス代表取締役専務
 両備バスカンパニー顧問
 両備テクノカンパニー長
 岡山電気軌道 安全・CS課長
 両備バス労働組合 委員長
 " 副委員長
 " 書記長
 " 事故対策部長



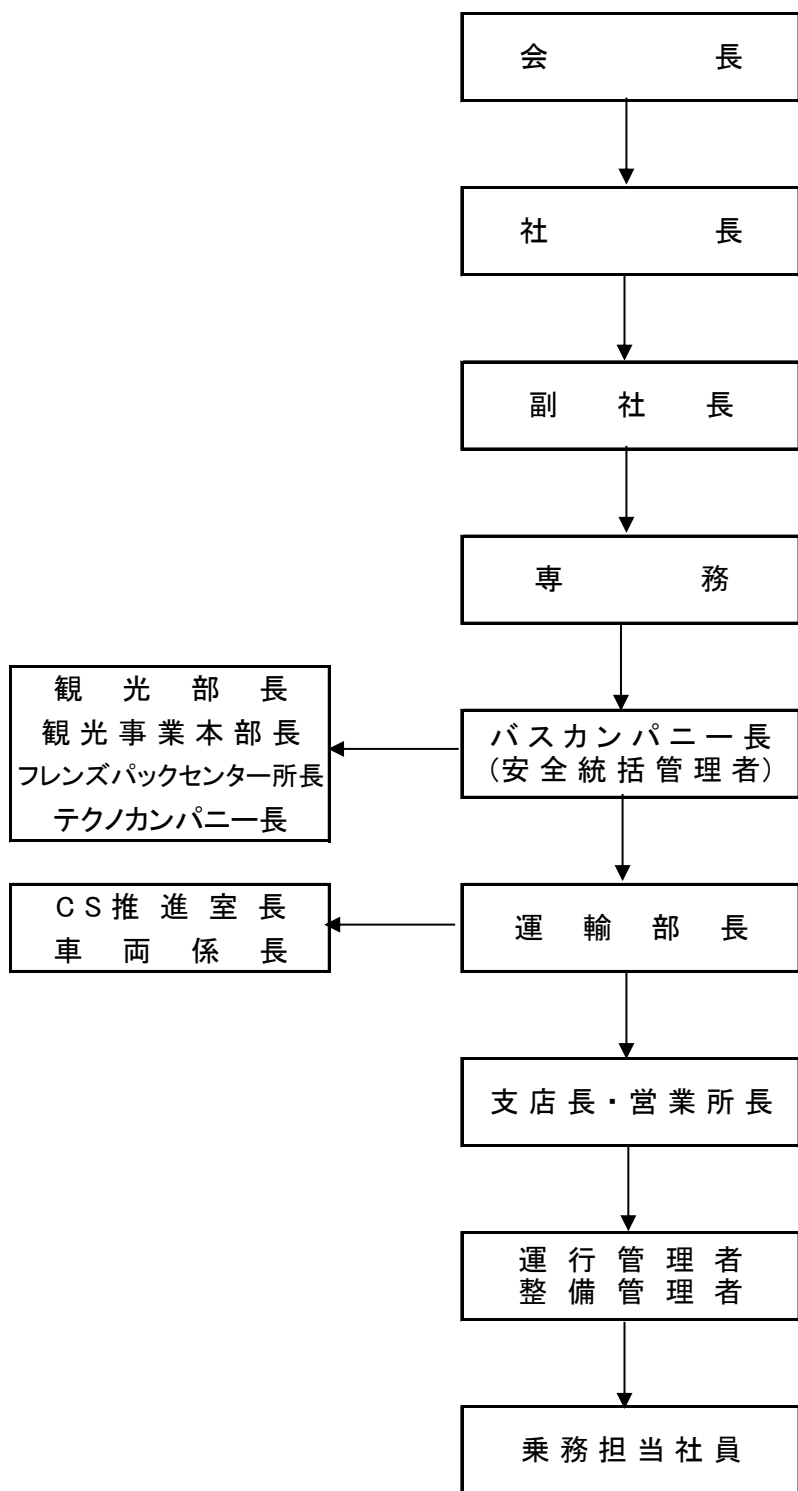
両備グループ バス部門 SSPブラッシュアップ組織図

平成25年4月1日

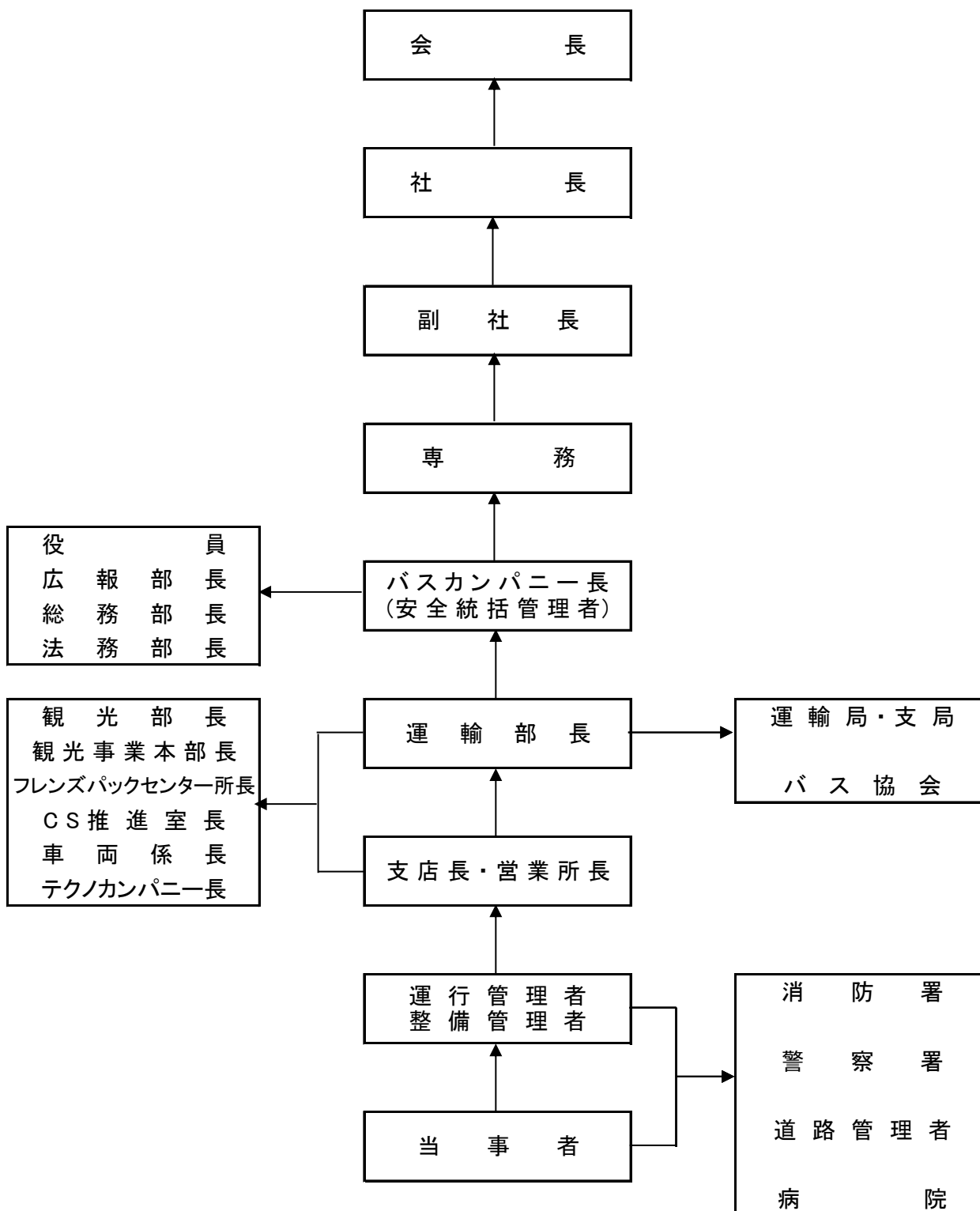
(変更)平成29年4月1日



輸送の安全に関する組織体制及び指揮命令系統図



事故・災害等発生時の報告連絡体制図



平成30年度 輸送の安全に関する会議等の実施計画

平成30年4月1日

両備バスカンパニー・両備バス関西カンパニー・両備津山カンパニー
東備バス

| 項 目 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |
|-----------------------|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|----|----|----|
| 両備グループ安全マネジメント委員会 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 両備グループ安全マネジメント委員会バス部会 | ○ | | | ○ | | | | | ○ | ○ | | |
| 両備バス安全マネジメント委員会 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| SSP-up総点検日(毎月10日) | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 高速追突注意の日(毎月15日) | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 自転車注意の日(毎月16日) | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 健康管理注意の日(毎月17日) | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 交通事故ゼロの日(毎月19日) | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 交差点注意日(毎月20日) | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 車検期限確認の日(毎月22日、30日) | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 安全統括管理者内部監査 | | | | | | | | | ○ | ○ | | |
| バスユニット相互監査 | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| SSP-UP技能コンテスト | | | | | | | ○ | | | | | |
| 両備グループ交通安全月間 | | | | ○ | | | | | | | | |
| 両備グループ交通安全日(7月31日) | | | | ○ | | | | | | | | |
| 車検切れの日(5月22日、12月30日) | | ○ | | | | | | | ○ | | | |
| スマホ事件を風化させない日(10月31日) | | | | | | | ○ | | | | | |
| スマホ依存度調査 | | | | | | ○ | | | | | | |
| 春秋交通安全運動、年末年始安全総点検 | ○ | | | | | ○ | | | ○ | ○ | | |
| 飲酒調査個人面談 | | | | | | ○ | | | | | | ○ |
| 定期健康診断(夏・冬2回) | | | | | ○ | | | | | | ○ | |
| 産業医巡回 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| SSPブラッシュアップ委員による面談指導 | | | | | ○ | | | | | | | ○ |
| 中間点検・点呼立会い・添乗指導 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 無事故表彰 | | | | | | | | | | | | ○ |

平成30年 輸送の安全に関する教育・研修等の実施計画

①両備バスカンパニー・両備バス関西カンパニー・両備津山カンパニー・東備バス

| ★両備バス | 1月 | 2月 | 3月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 日数 | 担当 | 備考 |
|---------------------------------|-----|----|----|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|------------|----------|--------------------------------|
| 新入運転者教育 | 随 時 | | | | | | | | | | | | 集合12日間現場2月 | 管理課・営業所 | (座学)本社(実技)西大寺宮 その後 配属先営業所 |
| 運行管理者(運行管理補助者)教育 | ○ | | | | | ○ | ○ | ○ | | | | | 0.5日 | 管理課 | (座学)本社 |
| 指導運転者教育 | | | | ○ | | | | | | | | | 1日 | 管理課 | (座学)本社 |
| 新任運行主任教育 | | | | | ○ | | | | | | | | 1日 | 管理課 | (座学)本社 |
| 新任職長・班長教育 | | | | ○ | | | | | | | | | 1日 | 管理課 | (座学)本社 |
| 一般運転者教育(ドラレコを使ったKYT・デジタルコ・スマホ等) | ○ | ○ | | | | ○ | ○ | ○ | | | | ○ | 1日 | 管理課 | (座学)本社・岡山営業所または大阪支店 |
| 事故惹起者教育 | | ○ | | ○ | | ○ | | | ○ | | | ○ | 1日 | 管理課 | (座学)本社(実技)郊外 |
| 貸切ステップアップ教育 | | | | | ○ | | ○ | | | | | | 2日 | 管理課 | (座学)本社(実技)岡山営・米子道・山陰 |
| 高速ステップアップ教育 | | | | ○ | | | | | | | | ○ | 4日 | 管理課 | (座学)本社(実技)岡山営・山陽・中国道・名神道・広島・京都 |
| 雪上訓練 | ○ | | | | | | | | | | | ○ | 1日 | 管理課 | (実技)藤山・大山 |
| 運行管理者基礎講習 | | | | | | ○ | | | | | | ○ | 3日 | NASVA | |
| 運行管理者一般講習 | | ○ | | | | | | ○ | ○ | ○ | | | 1日 | NASVA | |
| 安全マネジメント講習会 | | | | | | ○ | ○ | | | | ○ | | 0.5日 | NASVA | |
| 適性診断活用研修(指導者) | | ○ | | | | ○ | | | | ○ | | | 0.5日 | NASVA | |
| 適性(適齡)診断 | ○ | ○ | | | | ○ | ○ | ○ | | | | ○ | | NASVA | 適齡は65歳到達後1年以内 以降67歳 69歳時に実施 |
| 適性診断受診者個別指導 | ○ | ○ | | | | ○ | ○ | ○ | | | | ○ | | 営業所 | |
| 一般運転者教育(国交省告示1676号) | 随 時 | | | | | | | | | | | | | 営業所 | 乗務員必携、国交省メルマガ等使用 |
| 運転実技教育 | | | ○ | | | | | ○ | | | | | 1泊2日 | クレフィール湖東 | |

②両備グループ バス部門合同(両備HD・岡山電気軌道・中国バス・井笠バスカンパニー・東備バス・ニッコー観光バス)

| ★両備SSP-UPセンター(バス部門 合同教育) | 1月 | 2月 | 3月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 日数 | 場所 | 備考 |
|--------------------------|-----|----|----|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|----|----------------------|-----------------------------|
| 新任バス運転者基礎教育 | 随 時 | | | | | | | | | | | | 4日 | SSP-UPセンター トラック協会 | (座学)SSP-UPセンター(実技)トラック協会教習所 |
| 新任バス運転者フォローアップ教育 | | | | | | | | ○ | | | | | 1日 | SSP-UPセンター | |
| ベテラン(高齢)運転者教育(55歳時対象) | | | ○ | | | | ○ | | | | | ○ | 1日 | 岡電岡南 | |
| 事故惹起運転者教育 | | ○ | | ○ | | ○ | | ○ | | ○ | | ○ | 1日 | SSP-UPセンター | |
| 事故惹起運転者技能教育 | ○ | | ○ | | ○ | | ○ | | ○ | | ○ | | 1日 | トラック協会教習所 | |
| 接客サービス教育(苦情多発者対象) | | ○ | | | ○ | | | ○ | | | ○ | | 1日 | SSP-UPセンター 岡山駅 | |
| SSPブラッシュアップ管理者教育 | | | ○ | | | | | ○ | | | | | 1日 | SSP-UPセンター | |
| SSPupコンテスト | | | | | | | | | | ○ | | | 1日 | 備岡 | |

平成29年度 輸送の安全に関する研修・設備投資費用

両備バスカンパニー
 両備バス関西カンパニー
 両備津山カンパニー
 東備バス

| 項 目 | 単 価 | 人員・個数 | 合 計 | 備 考 |
|-----------------------------|------------|-------|-------------|--------------------|
| 新入運転者教育 | 83,600 | 31 | 2,591,600 | 制服等を含む |
| 事故惹起者教育 | 13,600 | 18 | 244,800 | |
| 高齢運転者教育 | 7,600 | 15 | 114,000 | 55歳到達時 |
| 一般ドライバー教育 | 4,600 | 361 | 1,660,600 | |
| ステップアップ教育 | 5,000 | 28 | 140,000 | 高速・貸切運転者登用時 |
| 指導運転者教育 | 63,500 | 3 | 190,500 | クレフィール湖東研修含む |
| 運行管理者(補助者)教育 | 1,000 | 134 | 134,000 | 社内 |
| 運行管理者一般講習 | 3,100 | 60 | 186,000 | ナスバ |
| 運行管理者基礎講習 | 8,700 | 27 | 234,900 | ナスバ |
| 安全マネジメント講習会 | 5,100 | 26 | 132,600 | ナスバ |
| 適性診断 | 2,300 | 188 | 432,400 | ナスバ |
| 適性診断活用研修(指導者) | 2,600 | 10 | 26,000 | |
| 運転記録証明書 | 630 | 559 | 352,170 | |
| ASK飲酒運転防止インストラクター | 18,500 | 1 | 18,500 | |
| SAS検査 | 2,500 | 39 | 97,500 | |
| MRI検査 | 20,000 | 77 | 1,540,000 | |
| 薬物検査 | 5,940 | 116 | 689,040 | |
| モービル・アイ取付 | 150,000 | 102 | 15,300,000 | 後付型衝突防止警報装置 |
| ドライブレコーダーカメラ増設 | 45,000 | 102 | 4,590,000 | 貸切・高速車両 |
| 点呼・健康:ご安全に!と 車両管理システムの連携 | 1,500,000 | 1 | 1,500,000 | |
| 乗合車両 新造 | 28,000,000 | 6 | 168,000,000 | ワンステップ・ノンステップ・AT車 |
| 高速車両 新造 | 45,000,000 | 3 | 135,000,000 | 衝突被害軽減ブレーキ装備車・AMT車 |
| 貸切車両 新造 | 41,000,000 | 6 | 246,000,000 | 衝突被害軽減ブレーキ装備車・AMT車 |
| 総 計 | | | 579,174,610 | |

* 補助金含む

平成30年度 輸送の安全に関する研修・設備投資計画

両備バスカンパニー
 両備バス関西カンパニー
 両備津山カンパニー
 東備バス

| 項 目 | 単 価 | 人員・個数 | 合 計 | 備 考 |
|-------------------|------------|-------|-------------|--------------------|
| 新入運転者教育 | 86,600 | 30 | 2,598,000 | 制服等を含む |
| 事故惹起者教育 | 13,600 | 15 | 204,000 | |
| 高齢運転者教育 | 7,600 | 15 | 114,000 | 55歳到達時 |
| 一般ドライバー教育 | 4,600 | 360 | 1,656,000 | |
| ステップアップ教育 | 5,000 | 30 | 150,000 | 高速・貸切運転者登用時 |
| 指導運転者教育 | 63,500 | 10 | 635,000 | クレフィール湖東研修含む |
| 運行管理者(補助者)教育 | 1,000 | 150 | 150,000 | 社内 |
| 運行管理者一般講習 | 3,100 | 60 | 186,000 | ナスバ |
| 運行管理者基礎講習 | 8,700 | 30 | 261,000 | ナスバ |
| 安全マネジメント講習会 | 5,100 | 20 | 102,000 | ナスバ |
| 適性診断 | 2,300 | 250 | 575,000 | ナスバ |
| 運転記録証明書 | 630 | 500 | 315,000 | |
| ASK飲酒運転防止インストラクター | 18,500 | 5 | 92,500 | |
| SAS検査 | 2,500 | 60 | 150,000 | |
| MRI検査 | 20,000 | 30 | 600,000 | |
| 薬物検査 | 5,940 | 110 | 653,400 | |
| スマホ対応 DR-VISON一式 | 15,000,000 | 1 | 15,000,000 | |
| 乗合車両 新造 | 28,000,000 | 4 | 112,000,000 | ワンステップ・ノンステップ・AT車 |
| 高速車両 新造(昼行用) | 45,000,000 | 4 | 180,000,000 | 衝突被害軽減ブレーキ装備車・AMT車 |
| 高速車両 新造(夜行用) | 60,000,000 | 1 | 60,000,000 | 衝突被害軽減ブレーキ装備車・AMT車 |
| 貸切車両 改造 | 30,000,000 | 1 | 30,000,000 | |
| 総 計 | | | 405,441,900 | |

* 補助金含む

ご安全に！

平成30年6月26日

両備ホールディングス株式会社バス部門

安全統括管理者 山田 英夫

両備バスカンパニー・両備津山カンパニー

執行役員カンパニー長 山田 英夫

両備バス関西カンパニー

執行役員カンパニー長 金重 雄志

東備バス株式会社

安全統括管理者 常務取締役 佐藤 輝彦